

商品名 プレガバリンOD錠150mg「JG」 医薬品基本情報

薬効	1190 その他の中枢神経系用薬	一般名	プレガバリン150mg口腔内崩壊錠
英名	Pregabalin OD JG	剤型	錠
薬価	16.40	規格	150mg 1錠
メーカー	日本ジェネリック	毒劇区分	

プレガバリンOD錠150mg「JG」の効能・効果

神経障害性疼痛、線維筋痛症の疼痛

プレガバリンOD錠150mg「JG」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 薬物依存の既往、精神障害、薬物依存傾向	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 腎機能障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 心血管障害、重度うっ血性心不全、血管浮腫の既往、腎機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

プレガバリンOD錠150mg「JG」の副作用等

1. めまい、傾眠	記載場所	重大な副作用
2. 咳嗽、呼吸困難、発熱、間質性肺炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 肺水腫、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急性腎障害、血管浮腫、過敏症、ショック、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、多形紅斑、劇症肝炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

4. 意識消失、転倒、骨折、心不全、低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、意識障害、低血糖症状、AST上昇、ALT上昇、肝機能障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
5. 腎不全、アナフィラキシー	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
6. 離人症、無オルガズム症、激越、喚語困難、リビドー亢進、パニック発作、脱抑制、昏迷、嗅覚錯誤、書字障害、眼刺激、散瞳、動揺視、深径覚変化、視覚の明るさ、角膜炎、洞性頻脈、鼻乾燥、鼻閉、咽喉絞扼感、腹水、嚥下障害、丘疹、乏尿、射精遅延、性機能不全、無月経、乳房分泌、月経困難症、乳房肥大、胸部絞扼感、血中カリウム減少	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
7. 好中球減少症、白血球減少症、血小板減少症、食欲不振、食欲亢進、高脂血症、高血糖、不眠症、錯乱、失見当識、多幸気分、異常な夢、幻覚、うつ病、落ち着きのなさ、気分動揺、抑うつ気分、無感情、不安、リビドー消失、睡眠障害、思考異常、浮動性めまい、頭痛、平衡障害、運動失調、振戦、注意力障害、感覚鈍麻、嗜眠、構語障害、記憶障害、健忘、錯感覚、協調運動異常、鎮静、認知障害、ミオクロームス、反射消失、ジスキネジー、精神運動亢進、体位性めまい、知覚過敏、味覚異常、灼熱感、失神、精神的機能障害、会話障害、霧視、複視、視力低下、視覚障害、網膜出血、視野欠損、眼部腫脹、眼痛、眼精疲労、流涙増加、光視症、斜視、眼乾燥、眼振、回転性めまい、耳鳴、聴覚過敏、動悸、第一度房室ブロック、頻脈、洞性不整脈、洞性徐脈、心室性期外収縮、高血圧、低血圧、ほてり、呼吸困難、鼻咽頭炎、咳嗽、いびき、鼻出血、鼻炎、便秘、悪心、下痢、腹痛、嘔吐、腹部膨満、消化不良、鼓腸、胃炎、胃不快感、口内炎、流涎過多、胃食道逆流性疾患、肺炎、舌腫脹、発疹、皮膚そう痒症、湿疹、眼窩周囲浮腫、多汗症、冷汗、蕁麻疹、脱毛、筋力低下、筋痙縮、関節腫脹、四肢痛、背部痛、筋肉痛、重感、関節痛、筋骨格硬直、尿失禁、排尿困難、尿閉、乳房痛、勃起不全、女性化乳房、浮腫、口渇、疲労、異常感、歩行障害、顔面浮腫、無力症、疼痛、圧痕浮腫、倦怠感、胸痛、発熱、冷感、悪寒、易刺激性、酩酊感、転倒、転落、体重増加、血中CK増加、ALT増加、AST増加、血中アミラーゼ増加、血中クレアチニン増加、体重減少、血中尿酸増加	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
8. 眼に関する副作用	記載場所	使用上の注意
9. 体重増加	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 不眠、悪心、頭痛、下痢、不安、多汗症、離脱症状、体重増加、肥満、弱視、視覚異常、霧視、複視、眼障害、依存、胎仔異常、胎仔低体重、胎仔限局性浮腫、胎仔骨格変異、胎仔骨化遅延、出生児への影響、出生児体重低下、出生児生存率低下、出生児聴覚性驚愕反応低下、出生児発育遅延、出生児生殖能に対する影響、中枢神経症状、自発運動亢進、歯ぎしり、成長への影響、一過性の体重増加抑制、聴覚性驚愕反応低下、発情休止期延長、めまい、傾眠、意識消失、転倒、骨折、情動障害、錯乱状態、抑うつ、激越、落ち着きのなさ、痙攣発作、自殺念慮、自殺企図、血管肉腫、網膜萎縮	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

プレガバリンOD錠150mg「JG」の相互作用

1. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	昏睡、呼吸不全	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

2. 薬剤名等：オキシコドン

発現事象	認知機能障害及び粗大運動機能障害に対して本剤が相加的に作用	投与条件	-
理由・原因	相加的な作用	指示	注意

3. 薬剤名等：ロラゼパム

発現事象	認知機能障害及び粗大運動機能障害に対して本剤が相加的に作用	投与条件	-
理由・原因	相加的な作用	指示	注意

4. 薬剤名等：アルコール

発現事象	認知機能障害及び粗大運動機能障害に対して本剤が相加的に作用	投与条件	-
理由・原因	相加的な作用	指示	注意

5. 薬剤名等：飲酒

発現事象	認知機能障害及び粗大運動機能障害に対して本剤が相加的に作用	投与条件	-
理由・原因	相加的な作用	指示	注意

6. 薬剤名等：血管浮腫を引き起こす薬剤

発現事象	血管浮腫＜顔面・口・頸部の腫脹など＞を発症するリスクが高まる	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等：末梢性浮腫を引き起こす薬剤

発現事象	末梢性浮腫を発症するリスクが高まる	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』